一般社団法人京都光科学研究所研究員採用規程

柄谷肇（代表理事・所長）制定

令和1年8月1日

（目的）

第1条 一般社団法人京都光科学研究所（以下「研究所」と言う。）における研究員の選考については、この基程によるものとする。

（研究員の資格）

第2条 研究員となることのできる者は、独立して研究する能力があり、研究者としての資質を有する者であり且つ次の各号のいずれかに該当すると認められる者とする。

(1) 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有し、研究上の業績を有する者

(2) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められる者

(3) 修士の学位(医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを目的とするものまたは獣医学を履修する課程を修了した者については、学士の学位)又は専門職学位(外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。)を有し、研究上の能力があると認められる者

(4) 専攻分野について、知識及び経験を有すると認められる者

(5) 学士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有し、研究上の能力があると認められる者

（採用書類）

第3条 研究員は、採用の際、次に掲げる書類を研究所代表理事・所長（以下「所長」と言う。）に提出するものとする。

(1) 誓約書

(2) 履歴書

(3) 最近5年間の研究業績リスト及び競争的資金等の獲得状況

(4) 研究に対する抱負

(5) 資格に関する証明書

(6) 健康診断書

(7) 住民票記載事項の証明書

(8) 個人番号カード(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)第2条第7項に規定するものをいう。)の写しまたは通知カード(同法第7条第1項に規定するものをいう。)の写し

(9) その他所長が必要と認める書類

2. 前項の提出書類の記載事項に異動があったときは、そのつど速やかに、書面でこれを代表理事に届け出るものとする。
3. 研究員の採用は、候補者の人格、研究能力、学界及び社会における活動等について調査すると共に面接を課し、それらの結果を総合的に勘案して決定する。
4. 採用後は、一般社団法人京都光科学研究所職員就業規程（令和1年8月1日）に従うものとする。

(雑則)

第4条 この規程に定めるもののほか、研究員採用規程に関して必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、令和1年9月1日から施行する。